

令和5年度

各務原市水道事業会計

予算概要

- ① 方針
- ② 予算額（税込）
- ③ 給水人口・戸数・給水量・有収水量
- ④ 収支の内訳
- ⑤ 主な事業

① 方針

災害に強い安定した給水体制を確立するため、また、安全・安心な水を供給するため、水道施設を整備・維持管理し、水質管理を徹底するとともに、経営の効率化を図り、水道使用者の信頼に応える水道事業運営を目指す。

◆総合計画に基づく事業実施と目標管理

施設・設備の計画的更新と耐震化推進

② 予算額（税込）

区分	収益的収入		資本的収入		収入合計	
令和5年度	2,783,730	千円	104,220	千円	2,887,950	千円
令和4年度	2,786,701	千円	134,096	千円	2,920,797	千円
差引	△ 2,971	千円	△ 29,876	千円	△ 32,847	千円
対前年度比	99.89	%	77.72	%	98.88	%

区分	収益的支出		資本的支出		支出合計	
令和5年度	2,706,516	千円	1,720,237	千円	4,426,753	千円
令和4年度	2,482,243	千円	1,714,846	千円	4,197,089	千円
差引	+224,273	千円	+5,391	千円	+229,664	千円
対前年度比	109.04	%	100.31	%	105.47	%

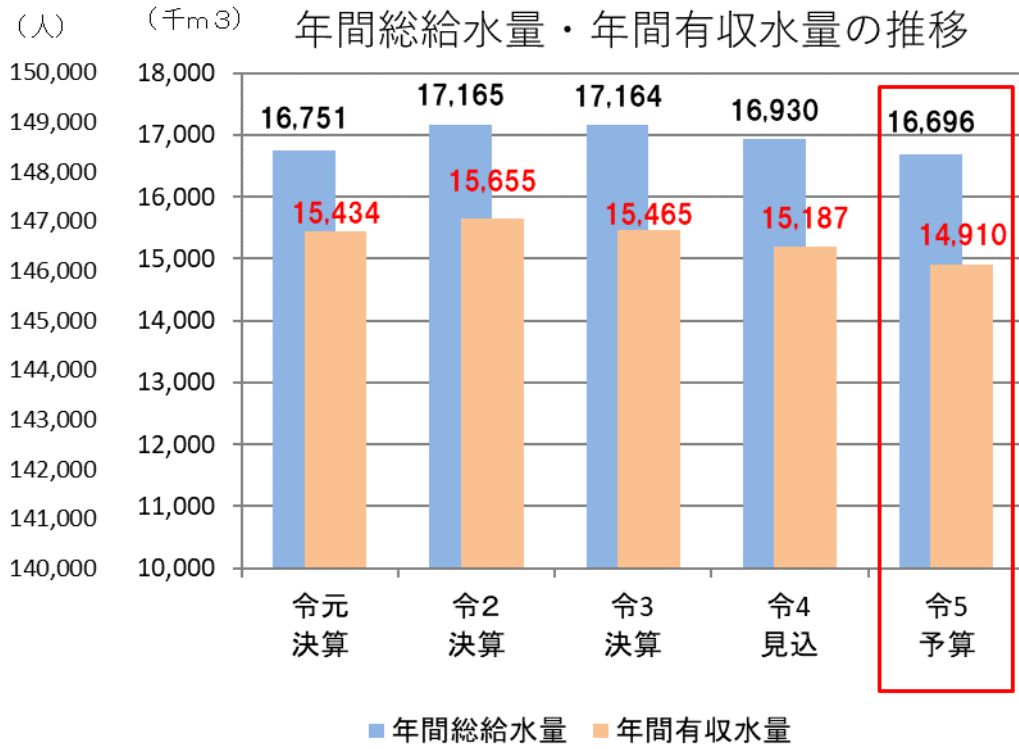
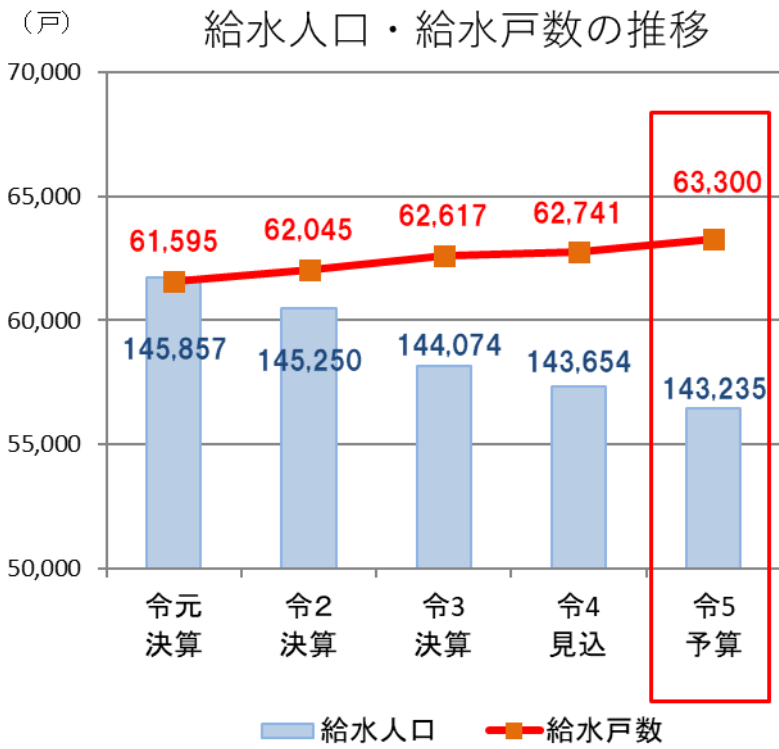
※「予算額」は議決対象の税込予算額を計上。財政状況は「④ 収支の内訳」で示す。

③ 給水人口・戸数・給水量・有収水量

○令和5年度予算における給水人口、給水戸数、年間総給水量、年間有収水量は、次の値とする（給水人口、年間総給水量、年間有収水量は経営戦略の計画値）。

給水人口	143,235 人	年間総給水量	16,696,000m³
給水戸数	63,300 戸	年間有収水量	14,910,000m³

(有収率 89.3%)



④ 収支の内訳

(単位：千円)

収益的収支（3条予算：税抜）

水道事業収益 2,555,258 (100.0%)						
給水収益 2,039,632 (79.8%)		給水負担金 128,512 (5.0%)	その他 174,151 (6.8%)	長期前受 金戻入 212,963 (8.4%)		
水道事業費用 2,489,574 (100.0%)						
修繕費 504,031 (20.3%)	動力費 402,816 (16.2%)	職員給与費 264,921 (10.6%)	委託料 209,578 (8.4%)	その他 120,172 (4.8%)	減価償却費 906,656 (36.4%)	資産減耗費 81,400 (3.3%)

資本的収支（4条予算：税込）

資本的収入 104,220(100.0%)		資本的収支不足額(補てん財源) 1,616,017	
負担金 104,220	消費税等 収支調整額 125,127	過年度分 損益勘定留保資金 1,204,483	当年度分 損益勘定留保資金 286,407

当年度
純利益
65,684

資本的支出 1,720,237 (100.0%)

建設改良費 1,511,896 (87.9%)	企業債償還金 208,341 (12.1%)
-------------------------------	------------------------------

⑤ 主な事業

(1) 水道管路の更新・耐震化 (1,491,452千円)

水道管路の耐震管への更新などを行う。

- 管路耐震化延長（口径75mm以上）：13,545m
（うち、基幹管路耐震化延長 687m）

区分		令3	令4(見込)	令5(案)	令6(目標)
管路耐震化率	各務原市	36.0%	37.7%	39.2%	41.4%
基幹管路耐震適合率 (県・全国平均は年度 末に国が前年度分を 公表する)	各務原市	90.0%	92.6%	93.9%	100.0%
	岐阜県平均	40.1%	—	—	—
	全国平均	41.2%	—	—	—

(2) 水道施設の更新 (195,954千円)

水道水の安定供給のため、設備の更新整備を図る。

- 更新設備：三井第二水源地送水ポンプ、西市場水源地尾崎送水ポンプ、西市場取水ポンプ場電動弁、川崎山配水池流量計 など

(3) 水道施設の維持改修 (77,456千円)

経年劣化した施設や機器の改修を行う。

- 実施予定：鵜沼東受水池外壁等改修、西市場6号取水井浚渫、三井第二水源地ほか電気設備改修 など